

『CKDってご存じですか?』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



先月は腎臓の働きについてお話しましたが、CKDという病気をご存知でしょうか?CKDとは「慢性腎臓病」のことであり、日本でも年々患者数は増加しており、1330万人がCKDとも言われ、8人に1人が該当する新たな国民病とも言われています。CKDとは「腎臓の働きが健康な人の60%未満にて低下するか、蛋白尿が出るといった腎臓の異常が持続した状態」を言います。メタボリック症候群とも関連し、誰にでもリスクがあります。

CKDは初期には自覚症状がほとんどないため、健診などで腎臓や蛋白尿の異常を指摘されたまま、放置しておくこと知らぬ間に病気を進行させてしまいます。腎臓は一定のレベルまで悪化すると、自然に治ることはありません。進行すると、むくみ・貧血・倦怠感・息切れ等の症状が現れ、最終的には透析や腎移植が必要となります。透析は1回に数時間かかる治療を、週に2.3回継続していかなければならず、生活パターンの調整や、食事・運動の制限も必要です。そのため仕事や日常生活に大きな負担となってしまいます。

またCKDは脳卒中や心筋梗塞などの心血管系の病気発症のリスクも高くすることも分かってきました。CKDは生活習慣の改善、薬物治療により進行を抑えることが可能になっています。健診での早期発見・早期治療をこころがけましょう。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000